ウォッチガード、Wi-Fiセキュリティの課題を解決するクラウドベースのセキュアWi-Fiソリューションを発表

2016年11月17日（木）

ー企業向け統合型セキュリティプラットフォームのグローバルリーダであるWatchGuard（R）Technologiesの日本法人、ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、社長執行役員
根岸正人、以下ウォッチガード）は、セキュアかつスケーラブルで多機能なWi-Fi管理プラットフォーム「WatchGuard Wi-Fi Cloud」、並びにハイパフォーマンスを誇るクラウド対応のアクセスポイントの新モデル2種類を発表しました。

今回、発表したクラウド型管理プラットフォームと新たなアクセスポイント製品を組合せることにより、次世代のセキュアな無線LANソリューションとして業界最高レベルのWIPS（Wireless Intrusion Prevention System:ワイヤレス不正侵入検知・防御）テクノロジの提供が可能になります。さらに、本ソリューションによるWi-Fiホットスポットを活用することで、利用者の動態調査や分析を行い、マーケティング活動に役立てることもできます。WatchGuard Wi-Fi Cloudにより無線LANサービスプロバイダは、容易に無線LANサービスを多くの企業に提供することが可能となります。また、ネットワーク管理部門を持つ組織では、高速、安全、かつインテリジェントなWi-Fiアクセス環境を容易に素早く構築できるようになります。

ウォッチガードのワイヤレスプロダクト担当ディレクタであるライアン・オルシ（Ryan Orsi）は、次のようにコメントしています。「今日の先進的な企業は、安全で信頼性の高いWi-Fi環境は企業のネットワークインフラとして必須要件であるとの認識を持っていますが、中堅・中小企業や複数拠点を展開する企業はこうした環境を実現するための多くの課題に直面しています。私たちは、企業における無線LAN環境の実装と管理を簡素化し、セキュリティレベルを向上する包括的なソリューションを提供します。さらに、WatchGuard Wi-Fi Cloudを導入することで、顧客との双方向的なエクスペリエンスを実現し、強力な顧客の動向分析ツールとして活用することにより、企業のブランド力の向上を支援することも可能になります。」

無線LANセキュリティ

従来の無線ネットワーク管理ソリューションのほとんどが、不正デバイスのネットワークへの接続防止、あるいはワイヤレスDos攻撃などの脅威に対する遮断と防御が不十分です。一般的な他社のWIPS機能は、Detection（検知機能）をメインとしており、遮断や防御する機能が不十分です。よって、近くのホットスポットや、正規の接続デバイスを悪意あるデバイスとして誤検知してしまうことが多く、結果として不要な管理者負荷やエンドユーザの不満を招いています。

WatchGuard Wi-Fi Cloudにより、高品質の無線パフォーマンスを提供するとともに、分散拠点を含め、すべての接続デバイスにわたり一貫したセキュリティポリシーを適用することができます。今回発表したウォッチガードのクラウド対応の新アクセスポイント（AP120/AP320）には、特許技術である独自のWI

PSテクノロジが採用されており、自動的に無線デバイスを承認済み、不正、あるいは外部デバイスに分類することが可能となり、誤検出率を最小化します。この高度な不正アクセスの検知プロセスでは、安全かつ自動的に未承認のアクセスポイントやクライアントを遮断し、近隣の無線ネットワークに対する不法な干渉のリスクを排除することが可能となります。

また、ウォッチガードの提供するWIPS技術は、無線LAN経由での不正な無線デバイスやサイバー攻撃を自動的に検知し、無効化するだけでなく、以下の特長を備えています：

・ BYOD（私的デバイスの利用）ポリシーの安全な実行 –
ネットワーク上のワイヤレス端末を自動認識し、許可されていない接続を防止します。
・ 正確なロケーショントラッキング –
接続されているワイヤレス端末、またはワイヤレスインターフェィスの位置情報を正確に把握することにより、管理者は迅速な対応が可能です。
・ 柔軟な実装 –
あらゆるセキュリティニーズに対応することができます。既存の無線LAN環境上に、あるいは無線LANアクセスが禁止されている領域におけるスタンドアロン環境としても無線LAN環境を構築することができます。

WIPS（ワイヤレス不正侵入検知・防御）+ ネットワークセキュリティサービス
先進のWIPS技術と、実績豊富なネットワークセキュリティ機能を組み合わせることにより、セキュアな無線LANを可能にする包括的かつ効果的なソリューションが実現します。お客様は、ウォッチガードの高性能ネットワークセキュリティアプライアンスを活用して、すべての無線LANトラフィックに対して、AV（アンチウイルス）、IPS（不正侵入検知・防御）、Webフィルタリング、迷惑メール対策、アプリケーション制御、標的型攻撃対策、DLP（情報漏えい防止）、そしてレピュテーションセキュリティなどの豊富なセキュリティ機能を適用することができ、さらに有線LANとの統合的な運用・管理も実現します。こうした機能により、マルウェア侵入、盗聴、データ詐取、およびネットワークの不正利用を未然に防ぐことが可能になります。

双方向的なエンゲージメント／分析
WatchGuard Wi-Fi
Cloudは、カスタマイズ可能なダッシュボードに顧客の動向や統計情報などを表示し、マーケティングに活用できる可視化データとして役立てることができます。モバイルエンゲージメント機能を活用することで、組織は容易にこうした知見を生かし、SMS、MMS、あるいは他のソーシャルネットワークにより、個々の顧客とダイレクトにカスタマイズされたコミュニケーションを実現することができます。WatchGuard Wi-Fi Cloudでは、さらに下記の機能も提供します：

・ カスタムスプラッシュページとソーシャルWi-Fiエンゲージメント –
キャプティブポータル（ネットワーク利用時にWebブラウザを経由して認証を行う認証方式）により、Facebook、Twitter、LinkedIn、Instagram、あるいは他のソーシャルアプリケーションを通じて、プロモーションの機会、サーベイ、そして顧客のWi-Fiエクスペリエンスをパーソナライズすることができます。
・ モバイルエンゲージメント –
ユーザインタラクションやネットワーク滞在時間など事前に定義したトリガーに基づき、SMS、MMS、ソーシャルネットワーク経由で顧客にカスタムメッセージを送信することができます。
・ Wi-Fi分析 – Wi-Fiネットワーク内または周辺ネットワークにおけるパッシブスキャン、アクティブスキャン、およびユーザ接続時にデータが収集されます。データを分析、概念化することで、Wi-Fiユーザに関するトラフィックパターン、振る舞い、動態統計の知見を得ることが可能となり、

フロアプラン上でのトラフィックパターンのビジュアルマップも生成することができます。

関連資料：
・ ホワイトペーパー：WIPS（ワイヤレス不正侵入防御システム）に欠如している重要な要素
・ Wi-Fiソリューション概要：クラウドベース Secure Wi-Fiオンライン製品情報：
https://www.watchguard.co.jp/wifi

【WatchGuard Technologiesについて】
WatchGuard (R) Technologiesは、業界標準ハードウェア、ベストオブブリードセキュリティ、ポリシーベースの管理ツールを独自アーキテクチャにより統合したビジネスセキュリティソリューションを提供するグローバルリーダとして、全世界の企業にエンタープライズクラスのセキュリティソリューションを提供しています。本社を米国ワシントン州シアトルに置き、北米、ヨーロッパ、アジア太平洋地区、中南米に支社を展開しています。日本法人であるウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社は、多くのパートナーを通じて、アプライアンス製品、セキュリティの「可視化」、セキュリティとネットワークの「管理」など拡大するニーズへのソリューションを提供しています。詳細は http://www.watchguard.co.jp をご覧下さい。

WatchGuardは、WatchGuard Technologies,
Inc.の登録商標です。その他の商標は各社に帰属します。

【本プレスリリースに関するお問合せ】
ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社
〒106-0041
東京都港区麻布台1-11-9 CR神谷町ビル5階
マーケティング担当：角田・堀江
Tel： 03-5797-7205
Fax： 03-5797-7207
Email： jpnsales@watchguard.com
URL： http://www.watchguard.co.jp

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com